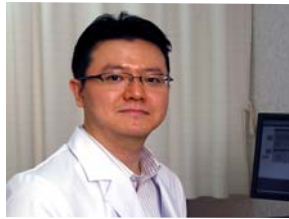


# さくら坂

医療法人厚仁会 秦野厚生病院

## 着任のご挨拶



この4月、秦野厚生病院に入職しました鳥居です。この度は副院長という大役

を仰せつかり、久しぶりに挑戦者の気分で仕事に臨ませていただいております。

私はこれまで大学病院の精神科医局に属していました。そしてその医局からの出向という形で、いくつかの精神病院にも勤務の経験があります。別に教授に嫌われていた訳ではないと思うのですが（評判の良い病院にばかり出向を命じられていたので）、当時の医局の中では転勤が多い方だったと思います。

精神科医になったばかりの頃、医局の先輩に言われた言葉がありまして、勤める病院が変わる度に思い出しま

## 副院長 鳥居 成夫

す。それは、「若い内にはいろいろな病院での勤務を経験しておいた方がいい。病院のスタイルにはどこにもスタンダードというものがないという事がわかるよ。」というものでした。

確かに赴任先の病院ではそれぞれ貴重な臨床の体験ができ、非常に勉強になったという点では共通しているのですが、病院ごとの特色は千差万別とっていいものでした。

それらの病院と比べて秦野厚生病院の第一印象は、「それぞれの部署が良く機能していて、なおかつ連携もとれている」というものでした。

医療業界を取り巻く現状にはいろいろ厳しいものがありますが、そうした中で秦野厚生病院はより良い病院になっていけると思いますし、そのために私も微力を尽くさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

### ハイライト:

・認知症分野に経験豊富な鳥居副院長の着任。急性期医療との2本の柱が強化されます。（1面）

・各医療分野の新入職員9人。意欲に燃えています。（2面）

・「緑化」や「パン」一心の病を持つ人たちと、地域をつないで活動する「鶴巻工芸」や「大根工芸」。タ

### 目次:

## 病院緑化の立役者「鶴巻工芸」



地域の人々との交流をたいせつに」をモットーに、老人ホームへの出前喫茶やハーブの栽培や加工などの作業や、スポーツやバーベキューといった交流活動などに取り組んでいます。

3年前からは、当院の緑化作業の中心的な役割を担って頂いており、ほぼ毎日のように花の手入れや水やり、新しい花の植え替えなどをして下さっています。

### 鶴巻工芸概要

社会福祉法人 地域精神保健福祉会  
就労継続支援施設 鶴巻工芸

(代表：石井美子)

〒257-0007 秦野市鶴巻2042-2

TEL/FAX 0463-77-7769

「鶴巻工芸」は当院から車で10分程の場所にあり、心の病を持つ人たちの自立と憩いの場として、仲間作りや社会参加を目指す施設で、当院を退院された方もご利用されています。

鶴巻工芸では「ひとりぼっちにさせない、ひとりぼっちにならない仲間づくり、

新入職員、決意と抱負	2
外来一覧	2
トピックス	3
救急トレーニング	3
糖尿病とうつ病	4

平成20年 春季号

# 新入職員 抱負



猪倉拓裕 (看護助手)

この春、宮崎県から来て2ヶ月が経過しますが、まだ病棟のスタッフに教わることばかりです。一人前を目指して頑張りますのでよろしくお願ひします。

篠崎淳子 (看護師)  
子供から手が離れて看護に復帰して7年目になりました。精神科の経験は短いのですが、患者様一人一人の生活の質を高めるお手伝いをしてゆきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



岡部明美 (看護師)

「4月から入職しました」といっても学生生活の5年間もこちらで働いていたので、今は無事卒業できたことに「ホッ」としています。皆様に「頑張れ」と応援してもらったことがとても嬉しかったです。知識・技術を身につけて働きたいと思ひます。

安彦尚希 (作業療法士)  
まだまだ未熟ですが、先輩方を見習い、患者様から信頼され、元気みなぎる作業療法士を目指し、日々勉強を積んでいきたいと思ひます。



鈴木祐子 (看護師)

宮崎県出身、ナース1年目です！入職して2ヶ月が過ぎ、患者様との関わりやスタッフの方々の温かいご指導の中で精神看護の難しさやすばらしさを実感しています。

山武夕子 (准看護師)

看護助手の仕事しながら学校に通い、仕事と子育てと学校でも忙しい毎日でしたが、職場の方々に支えられ資格を取ることができました。患者様の気持ちにより添っていけるよう、いつも笑顔で頑張っています。



永江夏紀 (看護師)



前職でも精神科看護に携わっていましたが、秦野厚生病院では他部門との関わりも非常に活発で、勉強させて頂いているところです。患者様一人一人の社会復帰に向けて自分ができることを見いだせるよう学びを深め経験を重ねていこうと思ひます。

三上浩平 (作業療法士)

4月からデイケアで勤務させて頂いています。作業療法士としての経験は浅く、頼りない部分もありますが、日々勉強して、デイケア利用者様方の生活の役に立てるよう努力します。



田沼龍太郎 (医師)

北里大学病院で2年間の研修を終え、4月から秦野厚生病院で勤務を開始しました。現在のマイブームは、夕食時に病院近辺の美味しい店を開拓することです。お勧めのお店があったら是非紹介してください。



## 外来担当表

	月	火	水	木	金	土
医師名	重田 小泉 (内科)	坂井 石川	鳥居 清水	長谷川 今雪	内出 佐々木	坂井 石原



# トピックス

## <カルタ作り>

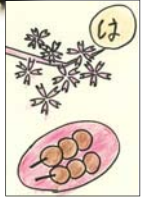
とある日の午後。2病棟を訪れてみると、カルタ大会を行っておりました。

参加者同士の自己紹介で始まり、名前と出身地を照れながらもお話しされます。「俺とおなじだなー。」と盛り上がっております。

カルタが並ぶと、一つ一つ眺め、「り」といえばの声に「律儀者の子たくさん!!」との声が上がります。いざカルタ大会が始まると、真剣なまなざしで札を探し、さっと手が伸びます。おてつき、おあいこにも和やかなムード。いろは52枚が次々となくなりま

す。

参加者からは「いいもんだなあ。」「懐かしかった。」「季節はずれだけどいいわね。」「いい運動だった。」との声。読み手へも「低くもなく高くもなく良い声でした。」と労がねぎらわれました。実はこのカルタは、皆様の手作りだそうです。



## <退院サポート隊>



当院では入院中の患者様を対象に、【退院前訪問指導】を実施しております。患者様・医師の了解を得て、看護師・精神保健福祉士・作業療法士とお馴染みの顔が退院先に同行。看護及び社会復帰指導等、地域や家庭での療養上必要な援助・指導を個別

的に行い、より安定した生活が送れる様に支援致します。具体的には訪問可能な回数・範囲に限りがあったり等も御座いますので退院を検討されている方は先ず最寄りのスタッフまでご相談下さい。お役に立ちます!!

## <スポーツ交流会>

平成20年5月23日、秦野市総合体育館にて、伊勢原・秦野地区の病院デイケア、作業所、12機関が集まり「スポーツ交流会」が開催され、当院デイケアからは36名のメンバーが参加しました。

今年は「必勝・必笑・必勝」の応援幕、応援衣装の作成、また月に2度のソフトバ

レーの練習と、昨年以上に気合いを入れ交流会に挑みました。

結果、選手・応援団が一丸となり。見事「初優勝!!」また特別応援団長賞も頂きました。

来年もソフトバレー優勝、応援賞の受賞と、今から意気込んでいます。



## <おいしいパン 販売中!>



1頁でもご紹介しました鶴巻工芸と同じグループの「大根工芸」にはパンの販売をして頂いています。

毎週水曜日のお昼頃に開店すると、あっという間に黒山の人だかり状態になります。人気の秘密は、手作り出来たてのお味と新メニューの豊富さです。いつもは職員

食堂を使っている職員も、訪問販売のある日は、決まってパンを購入しています。

数に限りがあるために、ちょっと遅れてしまうと、売り切れになってしまいますが、どなたでもお買い求めできますので是非一度、水曜日の病棟1階にお越し下さい。

## AED(自動体外式除細動器)で救急トレーニング実施

先日レサシアン人形とAED(自動体外式除細動器)を用いた救急トレーニングを行いました。みなさんと真剣に取り組みながら、心肺蘇生法やAEDの取り扱い方法などを体験しいろいろなことを学んでいったと思われま

す。2005年を期に救急蘇生法もまた変わ

り、最近ではAEDも駅やいろんな施設にも設置され、目にする機会も多くなりました。いつ何時、急変した方に遭遇したり大きな災害に見舞われるかわかりません。そのとき大切な命を救うため迅速に動けるよう、この体験をもとに人命救助にたずさわることができればよいと思います。



医療法人厚仁会 秦野厚生病院  
(精神科・心療内科・内科)

〒257-0003  
神奈川県秦野市南矢名2-12-1  
Tel. 0463-77-1108  
Fax 0463-77-4916

ホームページもご覧ください。  
<http://www.hatanokousei.jp/>

## ◆秦野厚生病院理念◆

安心してかかれる、よく治る病院を目指す

## ◆個人情報保護方針◆

当院では、個人情報の取扱いについて次のように宣言いたします。

1. 個人情報に関する法令・規範の遵守
2. 個人情報保護施策の強化
3. 個人情報保護に関する意思統一の徹底
4. 個人情報保護活動を継続的に改善・推進

## 健康コラム

巷で話題の「メタボリックシンドローム」ですが、メタボリックシンドロームは糖尿病の原因になります。

一方、糖尿病患者さんには高い頻度でうつ病が生じることが知られています。

その頻度は9～27%といわれ、少なくとも15%の方は精神科での治療が必要な状態にあるとも言われています。

これらに関しては、2つの側面があります。

一つは、血糖値のコントロールが上手くいかないことで心理的な反応としてうつ病になる場合。これとは反対に、うつ病のために、運動と食事のバランスが崩れて血糖値をコントロールできない場合もあります。

## (第2回) 「糖尿病とうつ病」

糖尿病は経過の長い病気の一つです。そのため、定期的な服薬や食事制限などストレスが溜まってしまったり、これらに加えて、職場や家庭の問題など様々な要因で多重なストレスが生じやすい状態にあり、これらによってうつ状態になることも少なくありません。

これまで内科だけで糖尿病の治療をしていた場合でも、血糖値のコントロールの悪化や生活習慣が乱れてきた場合、糖尿病治療は順調だけれども最近悲観的になっている場合、身体の不調があるが原因が見つからない、などといった場合には、精神科の受診をお勧めします。

## 編集後記

ミャンマーや中国の自然災害の甚大さに比べると、些細なものかもしれませんが、先日の台風や、5月の気温の変化の激しさなどを考えると、今年も「異常気象」なのかなと思います。でも毎年のように異常気象となると、そのうちに、「これが普通」と感じるようになるのでしょうか？